



# 総合交通メールマガジン

## 第11号

平成21年5月29日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

### 目次



#### Topics

- ・「地域のモビリティ総合サイト」を開設しました！
- ・「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の選定結果について



#### Column

- ・京都大学大学院 松中准教授「地方における不採算バス路線の維持に関する一考察」



#### 地域の取組紹介

- ・東京都



#### Information

- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



#### 編集後記

## Topics

### 「地域のモビリティ総合サイト」を開設しました！

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

地域のモビリティ（移動の利便性）の確保は、一人一人のアクティビティ（活動量）の質と量を向上・拡大し、交流と連携を活性化することにより、「自立的な地域の形成」にもつながります。

当室では、モビリティ確保に向けた施策に取り組む方々に対して有益な情報提供を行うため、「地域のモビリティ総合サイト」を開設しました。主な掲載内容は、以下の通りです。

- ・事例集、ガイドラインや記者発表等「モビリティ確保に関する情報提供」  
→今年3月に取りまとめた、「地域のモビリティ確保の知恵袋～モビリティは地域の元気之源～」の内容も掲載しています。（詳細は、次号のメールマガジンで紹介します。）
- ・情報交換等を通じてノウハウの共有等を促進する「交流広場」
- ・交通に関する最近の動向や各地の取組を紹介する「総合交通メールマガジン」

当サイトが皆様に活用されるよう、随時内容の充実を図ってまいりますので、「お気に入りページ」に追加して頂ければ幸いです。

【「地域のモビリティ総合サイト」のホームページ】

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000001.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000001.html)

【「地域のモビリティ確保の知恵袋～モビリティは地域の元気の源～」のホームページ】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/chiebukuro/index.htm>

## 「モビリティサポートモデル事業」実施箇所の選定結果について

(国土交通省 政策統括官付 参事官室)

国土交通省では、身体的状況、年齢、言語等を問わず、「いつでも、どこでも、だれでも」移動等に関する情報を入手することができる環境の構築を目指し、平成16年度から20年度までユビキタス技術を活用した技術的検討を進めてきました。

平成21年度からは、地域の様々な課題に対応するため、ユビキタス技術を活用して、あらゆる歩行者が移動に関する情報を入手できる環境を街づくりの中に構築することを目指した先進的な取組を支援するモビリティサポートモデル事業を実施し、これまでの成果を地域へ普及展開していくこととしています。

国土交通省では、モデル事業の実施に当たり、3月31日から5月12日までモデル事業の募集をしたところ、7つの団体から応募がありました。去る5月21日(木)に学識経験者、有識者等からなる「モビリティサポートモデル事業有識者委員会」を開催し、その実施箇所の選定について、ご意見、ご助言を頂きました。

そのご意見、ご助言を踏まえ、国土交通省ではモデル事業の実施箇所を選定したので、その結果をお知らせします。

実施箇所は以下の通りです。(括弧内は協議会名)

- ・千葉県いすみ市( (仮称) いすみ市モビリティサポート事業推進協議会)
- ・東京都中央区(「東京ユビキタス計画・銀座」実施協議会)
- ・東京都墨田区(すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム)
- ・神戸市(KOBEカード協議会)
- ・奈良県橿原市( (仮称) 今井町ユビキタス計画協議会)
- ・高知県室戸市( (仮称) 室戸ジオパークモビリティサポート検討協議会)
- ・福岡市(天神・大名地域WiFi化推進協議会)

各協議会からの提案概要、第1回モビリティサポートモデル事業有識者委員会の概要については、以下のHPに掲載しておりますので、是非ご覧下さい。また、ご不明な点がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

【モビリティサポートモデル事業実施箇所、各協議会からの提案概要及び有識者委員会の概要】

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu06\\_hh\\_000011.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu06_hh_000011.html)

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官付

課長補佐 鈴木 祥弘 Tel: 03-5253-8111(ext. 53-112)

E-mail: [suzuki-y2au@mlit.go.jp](mailto:suzuki-y2au@mlit.go.jp)

調整第二係長 外山 喜彦 Tel: 03-5253-8111(ext. 53-117)

E-mail: [toyama-y84sj@mlit.go.jp](mailto:toyama-y84sj@mlit.go.jp)

## Column

 京都大学大学院 松中准教授

### 「地方における不採算バス路線の維持に関する一考察」

現在、地方においては、地域住民にとっては欠くことのできない生活交通であるにもかかわらず運行経費を運賃収入で賄うことが困難な不採算バス路線をどのように維持していくのかが非常に重要な問題となっており、地域住民と自治体担当者による試行錯誤が続けられています。

こうした現状を踏まえ、京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 松中亮治准教授より「地方における不採算バス路線の維持に関する一考察」についてご寄稿頂きました。不採算バス路線の維持を考える際に、利用者の立場に立って考えることの重要性を説かれていますので、是非ご一読ください。

【コラム全文についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0905kyoto-univ.pdf>

京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻ホームページ : <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

## 地域の取組紹介

 東京都

環境にもお財布にもやさしい交通手段として認知度が高まりつつあるカーシェアリングを活用した事例として、東京都より「カーシェアリングと公共交通（都営地下鉄）を組み合わせたモデル事業～環境に、もっとやさしい東京へ～」について紹介頂きます。

東京都では、都営地下鉄浅草線の10駅近傍にカーシェアリングステーションを設置し、2月上旬から8月上旬までの間、これを活用したモデル事業を実施しています。カーシェアリングと公共交通機関（地下鉄）との連携は、全国初の取組です。



カーシェアリングステーション



パスモ（交通系ICカード）による施錠

【東京都の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0905tokyo.pdf>

東京都環境局自動車公害対策部ホームページ：

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/jidousya/kotsuryo-taisaku/index.html>

東京都交通局（都営地下鉄浅草線）ホームページ：<http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/>

プチレンタ（オリックス自動車株式会社）ホームページ：<http://www.orix-carsharing.com/>

## Information

### 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

### 地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

## 【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて27件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

[http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu\\_soukou\\_tk\\_000005.html](http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html)



今回の「総合交通メールマガジン」では、**Column**として、京都大学大学院 松中准教授より「地方における不採算バス路線の維持に関する一考察」についてご寄稿頂きました。この場をお借りして、松中准教授に御礼申し上げます。また、東京都からカーシェアリングと公共交通機関が連携した新たな取組について紹介頂きました。

そして、当室では「地域のモビリティ総合サイト」を開設しました。総合サイトがよりよいものになるよう育てていきますので、よろしくお願いいたします。

さて今回は、参事官室のT. K. が今月ベトナムに旅行した旅行記を以下に掲載します。是非ご覧下さい。

- ・ ゴールデンウィークの休暇を利用して、ベトナムへ旅行に行ってきました。目的地はベトナム北部に位置する首都ハノイ。かつてはフランスの植民地であり、現在でもフランスパンが日常的に食されています（写真①②）。
- ・ ハノイの建物の特徴は、間口に比べて奥行が長いことであり、日本で言う「うなぎの寝床」状態です。これは、税金が間口を基準にしてかけられているためで、奥行を広く取ることにより、同じ面積でも少ない税金で居住できるわけです（写真③④）。
- ・ さて、ハノイ市は人口約600万人の大都市なのですが、日常の公共交通機関はバスしかありません。鉄道もあるにはあるのですが、ホーチミン、中国国境など各方面への列車が一日数便しか運行されておらず、通勤通学に使われているわけではないようです（写真⑤⑥）。
- ・ バスは、市内路線と都市間路線があり、市内路線はどこまで乗っても全区間3,000ドン（約20円）。バスには必ず路線番号が記載されているのですが、バス停やバスターミナルの位置

が非常にわかりにくいので、市内の案内図をたよりに行動してもなかなか目的地にたどり着けないかもしれません（写真⑦⑧）。

- ・バスに乗っていると、乗客の中にはヘルメットを持っている人が見受けられます。バス停に自分のバイクが停めてあり、降車したバス停から自分のバイクで目的地に向かうのかなあと思いながら終点のバスターミナルに降りると、たちまちヘルメット姿のお兄ちゃんが降車口に多数駆け寄ってきます（写真⑨）。そして、乗客の一部はお兄ちゃんのバイクに跨り、ヘルメットを着用して目的地に向かうのです。これが、重要な交通機関であるバイクタクシーです。
- ・ハanoiでは（東南アジアの都市には共通しているのかもしれませんが）、高温多湿な気候のためか、日本のように目的地までとことこ歩く習慣はそれほどなく、バイクタクシーやシクロ（人力車）のような末端交通機関が非常に発達しているのです。ある意味、日本より人に優しいのかもしれません。
- ・このため、私のようにまちをぶらぶらしていると、日に何十回とバイクタクシーやシクロのお兄ちゃんから「バイク？」「シクロ？」と声をかけられることとなります。私も必要に駆られて数回バイクタクシーを利用しましたが、料金相場が全くわからないのが難点です。毎回つたない料金交渉を行うのですが、妥結した料金はベトナム人向けの料金よりかなり高いのでしよう（高いといっても、100～200円くらいなのですが）。
- ・そんな中、ハanoiにも、地下鉄整備の計画が現実味を持ちつつあります。日本政府は、ベトナム向け円借款の案件の目玉として、ハanoiの地下鉄整備を掲げており、2012年に着工、2016年の開業を目指すそう。地下鉄が開業した暁には、地下鉄の出口にバイクタクシーのお兄ちゃんが大勢たむろしている姿が容易に想像できそうです。（T. K.）

【写真はこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/0905tk-picture.pdf>

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 小林、近藤

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113、53-117)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : [soukou@mlit.go.jp](mailto:soukou@mlit.go.jp)

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

